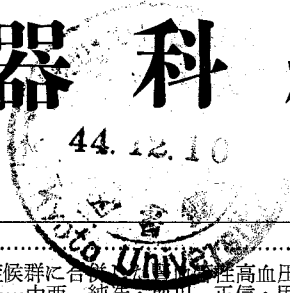




泌尿器科紀要

第 15 卷 第 5 号



1969年5月

随想 放射障害.....渡辺 漸...283

異所性自家腎移植の1例:大動脈炎症候群に合併した慢性高血圧症
.....中西 純造・前川 正信・甲野 三郎・服部 洋...285

小児尿路結石症の2例.....水本 龍助・福地 晋・吉田 桂一・滝本 至得・
中井 恒雄・関口 時彦...291

尿路結石症の発生原因に関する研究:尿中尿酸量に対する Vitamin B₆ および B₁ の影響
について.....八竹 直・大川 順正・竹内 正文・園田 孝夫...297

腎癌に関する臨床統計的観察 一組織像と予後を中心として—
.....宮川美栄子・吉田 修・加藤 篤二...304

脊損膀胱急性期における膀胱平滑筋の病態ならびに2・3薬剤の影響についての実験
的研究.....田上恭一郎...321

Spontaneous Pyelo-duodenal Fistula の1例.....大串 典雅・袴田 隆義・森 脩...337

男性不妊の研究 第1編:男性不妊の予後ならびに病因に関する統計的観察.....古玉 宏...342

男性不妊の研究 第2編:睾丸における抗原抗体反応に関する研究:活動性アナフィラキシー
時および逆アナフィラキシー時の睾丸の組織学的変化.....古玉 宏...360

泌尿器科的炎症性疾患に対する Bucolome (Paramidin) の使用経験
.....杉浦 式・島谷 政佑...375

耐性菌尿路感染症の治療—AB-PC および Hetacillin の単独ならびに MCI-PC との
併用療法に関する検討—.....三矢 英輔・小幡 浩司...382

編集後記・購読要項・投稿内規.....394

CONTENTS

Editorial: Radiation Injury.....S. Watanabe...283

A Case of Renal Autotransplantation: Renovascular Hypertension Caused by
.....J. Nakanishi, M. Maekawa, S. Kōno and H. Hattori...285

Aortitis Syndrome with Aortic Insufficiency

Two Cases of Urolithiasis in Childhood.....R. Mizumoto, S. Fukuchi,
K. Yoshida, S. Takimoto, Y. Nakai and T. Sekiguchi...291

Studies on the Etiology of Urolithiasis: Effects of Vitamin B₆ and Vitamin B₁
on Urinary Oxalate Excretion
.....S. Yachiku, T. Ohkawa, M. Takeuchi and T. Sonoda...297

Pathohistological Investigation on Renal Carcinoma —Biostatistical Analysis of
Histological Pictures which might Affect the Prognosis—
.....M. Miyakawa, O. Yoshida and T. Katō...304

Experimental Studies on the Pathophysiology of Neurogenic Bladder due to Spinal
Cord Injury, Especially the Effects of Drugs on Bladder Smooth Muscle in the
Acute StadiumK. Tanoue...321

Spontaneous Pyelo-Duodenal Fistula: Report of A Case
.....N. Ohgushi, T. Hakamada and O. Mori...337

Studies on Male Infertility. Part I: Statistical Studies on Prognosis and Etiology
of Male Infertility.....H. Furutama...342

Studies on Male Infertility. Part II: Studies on Antigen-Antibody Reaction in
the Testis: Histological Changes of the Testis in Active and Reversed Ana-
phylaxis.....H. Furutama...360

Experimental Application of Bucolome for Inflammatory Diseases in the Urologi-
cal Field.....H. Sugiura and M. Shimaya...375

Urinary Infection of Resistant Gram Negative Bacilli —Synergistic Action of
Aminobenzyl Penicillin or Hetacillin and Cloxacillin—
.....H. Mitsuya and K. Obata...382

泌尿紀要
Acta Urol. Jap.

京都大学医学部泌尿器科学教室
Department of Urology, Faculty of Medicine,
Kyoto University, Kyoto, Japan

Editor: Prof. Tokuji KATŌ

編 集 後 記

美しい五月——ことしの五月は連日すがすがしい陽光と新緑にめぐまれた日々であった。しかし大学の中はますます暗くなりこの中にあって近く問題の大学立法が成立しようとしている。大学の現状と改革の方向をめぐって大きくゆれ動いている潮流の中で、何よりも忘れてならぬことは大学は政治の場ではなく真剣な研究と教育をするところにはかならないということである。講座の岩が障害であればこれをとりこわしてでも本当の研究と教育にふさわしい場を作りたいものである。

さて本月号の随想には放射能障害について渡辺博士を煩わした。ご一読を乞う。

購 読 要 項

1. 発行は毎月（年12回）とし、年間購読者を会員とします。
2. 会員は年間予約購読料1,800円（送料とも）を前納していただきます。
分売は1冊150円（送料別）。払込みは振替口座番号 京都 4772番 泌尿器科紀要編集部、あるいは第一銀行百万遍支店宛。
3. 入会は氏名（フリガナ）、住所（雑誌郵送先）、勤務先、振替または銀行払の別をご記入のうえ編集部あて、はがきにてお申し込み下さい。
4. 新規に個人で入会のかたには最初の1年購読料1,000円の特典を設けます。

投 稿 内 規（1969年1月 改正）

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他。和文または英文とします。
2. 原稿の長さは制限しませんが簡潔に願います。
3. 和文原稿は400字詰原稿用紙横書きとし、当用漢字、平かな、現代かなづかいを用い、片かなには「」を要しません。表、図の説明はなるべく英文にしてください。文中欧語学術用語は固有名詞、記号以外はキャピタルではじめる必要はありません。必ず英文抄録をつけ、これには英文の表題、所属機関名、ローマ字著者名も記入しておいてください。
英文抄録は詳細なものを歓迎します。ご希望の場合は当編集部にて作成しますので、抄録用の和文原稿を別につけて下さい。翻訳の実費は申し受けません。
4. 英文原稿の場合はタイプで2行の間隔をあけ、和文表題と和文抄録をつけて下さい。
5. 数字はすべて算用数字を使用し、数量の単位は m, cm, mm, cc, ml, kg, g, mg, °C, μ, %, pH などを使用し、は不要です。また BUN IVP NPN PSP TUR なども、を要しません。
6. 表、図、写真などはすべて別紙とし、説明は和文、英文を問わず Table 1, Fig. 2 等としてください。
7. 文献の書式は次のようにしてください。
 - A 雑誌の場合 著者名：誌名、巻数：頁数、西暦年次。（論文題名は自由です）
例 1) 中野：泌尿紀要，1：110，1955。
2) Lazarus, J. A. : J. Urol., 45: 527, 1941.
文献名は正式略称を用いて下さい。例：日泌尿会誌，臨床皮泌，皮と泌，泌尿紀要，臨泌；J. Urol., Invest. Urol., Zschr. Urol. 等
 - B 単行本の場合 著者氏名：書名。版数，Vol. 数，p. 数，発行所，出版地，年次。
例 1) 加藤篤二：日本泌尿器科全書。Vol. 5, p. 175, 金原出版&南江堂，東京，1960。
2) Dean, A. L. & Dean, A. L., Jr. : Urology edit. by Campbell. M. F. 2nd edit., p. 1229, W. B. Saunders Co., Philadelphia, 1963.
8. 掲載料の著者負担は4頁まで毎頁600円、それ以上の頁、アート頁、図表、写真、欧文組版等は実費を申し受けます。別冊20部は無料、それ以上は実費をいただきます。ご投稿のさい希望部数を申し込んでください。お急ぎのときは特別掲載も考慮します。
9. 校正は初校のみ著者にもお願いし、再校以降は編集部のみが行ないます。著者複数の場合、校正責任者をお示しください。
10. 原稿は最終的にご希望があれば返却いたします。
11. 原稿到達日を受付日とし、予約による受け付けは致しません。
12. 原稿送り先は、606 京都市左京区聖護院 京都大学病院 泌尿器科紀要編集部、書留便。

泌尿器科紀要 第15巻 第5号 昭和44年5月25日 印刷 昭和44年5月31日 発行

定価150円（送料別）

編集発行人 加藤篤二 顧問 稲田 務 発行所 泌尿器科紀要編集部
606 京都市左京区聖護院川原町53 京都大学医学部泌尿器科学教室内 電話771-8111 学内5806
印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入